

# MITSUBISHI

三菱換気空清機 **ロスナイ**

## 壁掛1パイプ取付ロスナイ

形名

**標準用**  
VL-06SH (-BE)  
(引きひもタイプ)

VL-06ESH (BE)  
(壁スイッチタイプ)

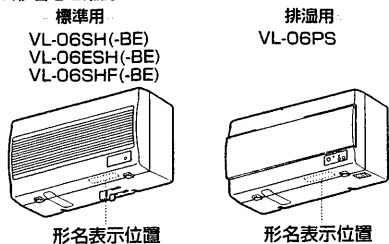
VL-06SHF (-BE)  
(引きひも、給気浄強化タイプ)

**排湿用**  
VL-06PS  
(引きひもタイプ)

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

形名によって取付工事が異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください



別冊の「取扱説明書」はお客様用です。  
必ずお渡しください。

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書をよくお読みください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身の工事は、故障や事故の原因になります。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

**分解禁止**  
●改造や必要以上の分解はしない  
(火災・感電・けがの原因となります)

**風呂・シャワー室での使用禁止**  
●浴室など湿気の多い所には本体・壁スイッチとも取付けない  
(感電・漏電の原因になることがあります)

●交流100Vを使用する  
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

●外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ  
(新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります)

●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う  
(落下によりけがをすることがあります)

●端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する  
(接続に不備があると火災のおそれがあります)

●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う  
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります)

**注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

**禁止**  
●壁取付専用のため、天井には取付けない  
(落下によりけがをすることがあります)

●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤がかかる場所には取付けない  
(火災のおそれがあります)

●端子台カバーは工事後、必ず取付ける  
(ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)

●取付けの際は手袋を着用する  
(着用しないとけがをすることがあります)

●給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実に行う  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

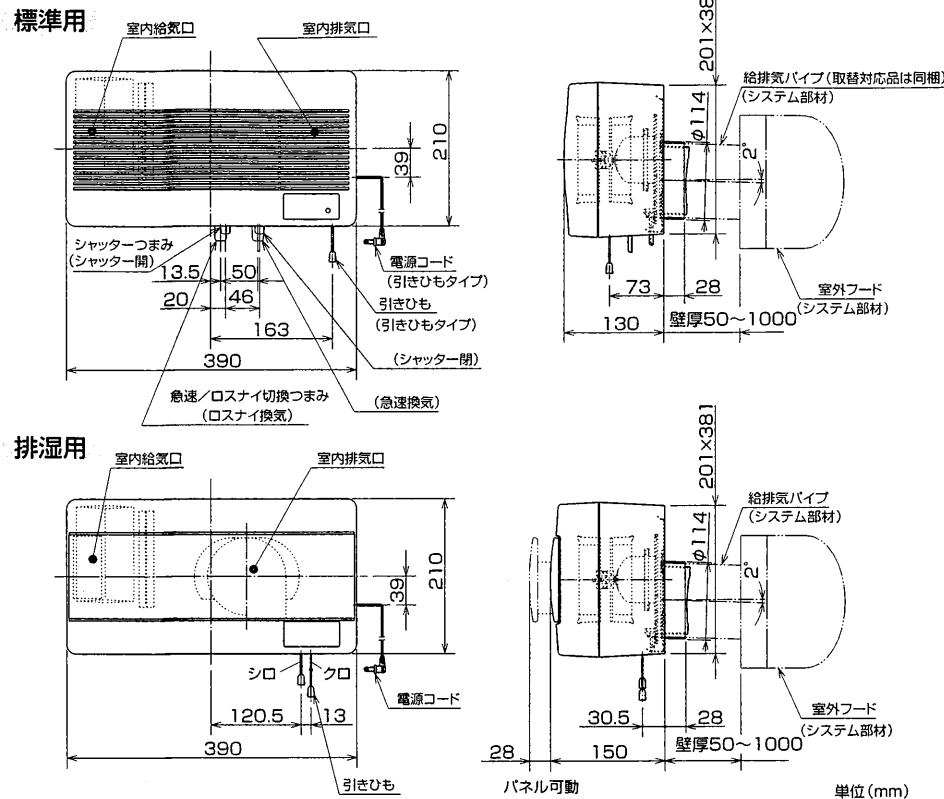
●ドレン排出は、取付工事説明書に従って確実に行う  
(水漏れによる感電・火災や家財破損のおそれがあります)

●専用システム部材の室外フードを取付ける  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

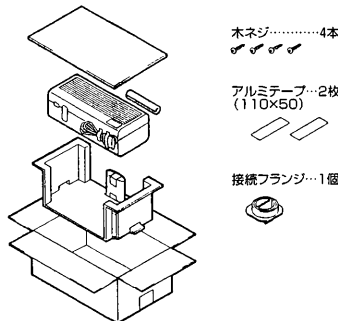
●取付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く  
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

## 1. 外形寸法図

※説明のために全機種機能を表示しています。



## 2. 同梱部品を確認してください



### システム部材(別売)が必要です

※取付けにともない下記システム部材が必要です。  
※壁厚により給排気パイプは異なります。

	壁の厚	
	300mm以下	1000mm以下
フード後付け	給排気パイプ P-30P-S	給排気パイプ P-100P-S
フード先付け	給排気パイプ P-30P-S パイプ固定板 P-50AP	給排気パイプ P-100P-S パイプ固定板 P-50AP
既築住宅取付け	接続パイプ P-30FP	—

※上記の他に室外フードが必要です。  
※24時間換気扇としてご使用の場合はP-30FPIは使用できません。  
※給排気パイプには、アルミテープと断熱材を同梱しています。  
※壁スイッチタイプの場合はコントロールスイッチも必要です。

### 3. 取付けの前に

#### 1. ネジをはすす

- 本体裏面のネジをはすす。  
●輸送時の製品保護用のネジですので以後、不要です。

#### 2. 取付板をはすす

- ドレンパンの先端を保護するため右図のように下じきを敷いて底上げする。
- 本体固定ネジ2本をはすして、本体から取付板をはすす。  
●本体固定ネジは保管してください。本体取付時に必要です。

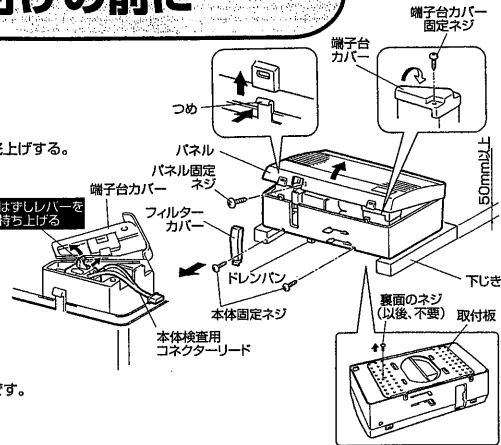
#### 3. パネルをはすす (壁スイッチタイプのみ)

- フィルターカバーをはすす。
- パネル固定ネジをはすす。  
●パネル固定ネジは保管してください。本体取付時に必要です。
- ドライバーなどでつめ部分を押しパネルをはすす。

#### 4. コネクターリードをはすす (壁スイッチタイプのみ)

- 端子台カバーを開ける。  
端子台カバー固定ネジ1本をはすして端子台カバーをはすす。  
●端子台カバー固定ネジは保管してください。電気工事時に必要です。
- 本体検査用のコネクターリードをはすす。  
●コネクターリードは以後、不要です。

※無理にひっぱらないでください。



### 4. 取付方法 裏面を見る

壁穴をあける／既設の換気口などを利用する、フード後付け／フード先付けによって取付方法が異なります。詳細は本説明書の裏面を参照ください。

#### 取付手順

##### 壁穴をあける場合

##### フード後付けの場合

- 壁穴工事** 取付位置決め、壁穴位置決め、壁穴開け、電源線の引き出し (壁スイッチタイプのみ)
- 取付け前の準備** 接続フランジ、コーキング材の塗布、給排気パイプの取付け、パイプ接続部のコーキング、給排気パイプの切断、パイプ取付板に固定、断熱材の切断・巻き付け
- 取付板の取付け** 取付板の固定
- 本体の取付け**
- 電気工事**
- パネルの取付け** (壁スイッチタイプのみ)
- 室外側工事** 室外フードの取付け

##### フード先付けの場合

- 壁穴工事** ●取付位置決め ●壁穴位置決め ●壁穴開け ●壁厚を測定 ●給排気パイプの挿入 ●パイプ固定板の位置決め ●断熱材の切断・巻き付け
- 取付け前の準備**
- 給排気パイプの取付け**
- 室外側工事** ●壁穴をふさぐ ●室外フードの取付け
- 内装工事** ●給排気パイプの切断 ●電源線の引き出し (壁スイッチタイプのみ)
- 取付板の取付け** ●接続フランジの取付け ●コーキング材の塗布 ●給排気パイプの接続 ●取付板の固定 ●接続フランジとパイプ接続部のコーキング
- 本体の取付け**
- 電気工事**
- パネルの取付け** (壁スイッチタイプのみ)

##### 既設の換気口などを利用する場合

- ※接続パイプ(P-30FP)の取付工事説明書に従う
- 取付け前の準備** ●既設換気口 (既設換気扇) をはすす ●壁厚を測定 ●接続パイプを取付板に固定 ●接続パイプを伸ばす
  - 取付板の取付け**
  - 本体の取付け**
  - 電気工事**

※システム部材の接続パイプ (P-30FP) を使用すれば、既築住宅への取付けができます。ただし、24時間換気扇としては使用できません。

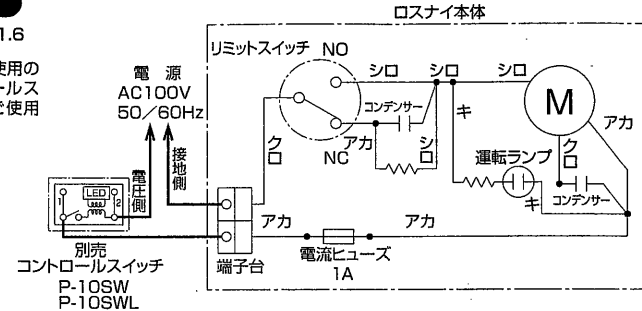
### 5. 結線図 100V専用・誤結線注意

■太線部分の結線をしてください。

#### 壁スイッチタイプ

適用電線：VVF単線φ1.6

※24時間換気扇としてご使用の場合、別売のコントロールスイッチはP-10SWLをご使用ください。



### 6. 取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)
- チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付け強度は十分ですか?	補強する	
	本体が確実に取付けられていますか?	本体固定ネジを締め直す	
	パネルが確実に取付けられていますか? (壁スイッチタイプのみ)	パネルを取付け直す	
	コーキングはしましたか? (接続フランジと給排気パイプの接続部、室外フード)	コーキングをする (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
試運転	電圧は100Vですか?	100Vに直す (異電圧を印加すると破損します)	

### 7. 試運転

■できるかぎりお客さま立合いで、試運転を行ってください。

#### 1. 電源を入れる

- 分電盤のブレーカーを入れる。
- 電源プラグをコンセントに差し込む。  
(壁スイッチタイプ以外)

#### 2. 運転状態の確認を行う

運転のしかたは、取扱説明書をご覧ください

#### 3. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する

- 停止後、電源プラグをコンセントから抜く。  
(壁スイッチタイプ以外)
- 分電盤のブレーカーを切る。

#### お客さまへの説明

- 分電盤のブレーカーとコンセントまたは、壁スイッチの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者 (オーナーなど) または、管理人さまへ説明してください。

この取付工事説明書は、再生紙を使用しています。

# 壁穴工事

本体が変形しないように、取付位置が平らであることを確認してください。(異音などの発生原因となります)

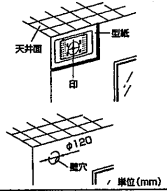
## フード後付けの場合

### 1. 取付位置・壁穴位置を決める

- 型紙を壁にあてて取付位置を決める。  
● 室外から不快なおいを給気しない位置であるか確認する。  
● 壁内の補強材が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
- 壁穴位置の中心に印を付ける。  
壁穴位置は上下可変です。

標準用	排湿用
30mm	20mm

### 2. φ120の壁穴をあける



## フード先付けの場合

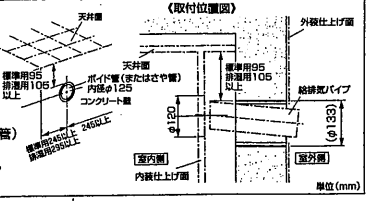
### 1. 取付位置・壁穴位置を決める

- 右図を確認し壁穴位置を決める。  
壁穴位置は上下方向に可変です。

標準用	排湿用
30mm	20mm

### 2. 壁穴をあける

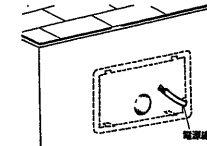
- 内径φ125のボイド管(またはさや管)を入れ、コンクリート壁を作る。
- ボイド管(またはさや管)を引き抜く。
- 外装壁面を仕上げる



# 電源線の引き出し

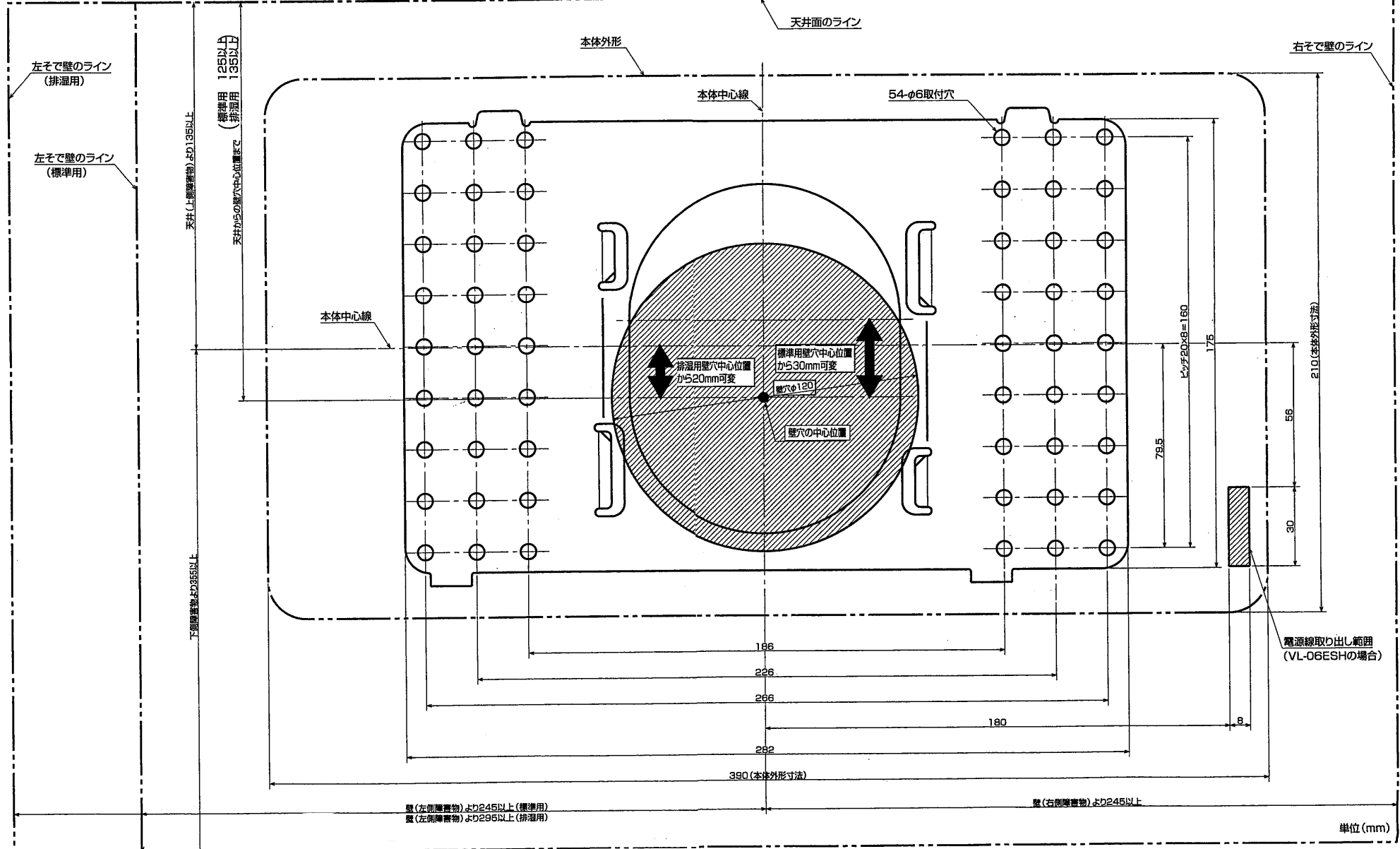
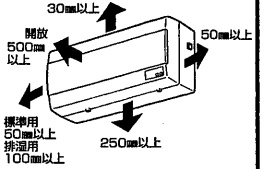
電源線を引き出す (壁スイッチ専用タイプのみ)

- 電源線取り出し位置を確認し、穴をあける。
- 電源線を室内側へ引き出す。



## メモ

● 本体の周囲には下記の寸法以上の空間が必要です。



# 取付方法

## フード後付けの場合

本体を壁に取付けた後で、フードを取付ける施工方法です。

### 1. 壁穴工事

- ◆壁穴工事
- ◆電源線の引き出し (壁スイッチタイプのみ) → **裏面を見る**

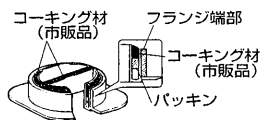
### 2. 取付け前の準備

#### 1. コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

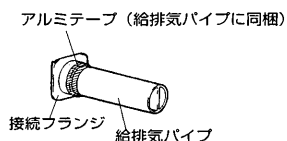
##### お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次作業を行ってください。



#### 2. 接続フランジを給排気パイプに取付ける

- (1) 給排気パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。
  - (2) 接続フランジと給排気パイプをパイプに同梱のアルミテープで巻き付けて確実に固定する。
- 確実に固定しないと、ドレン水が漏れるおそれがあります。(排湿用のみ)

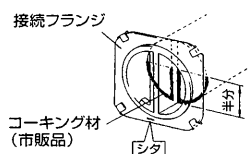


#### 3. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続フランジと給排気パイプの接続部の下から半分を内側からコーキングする。

##### お願い

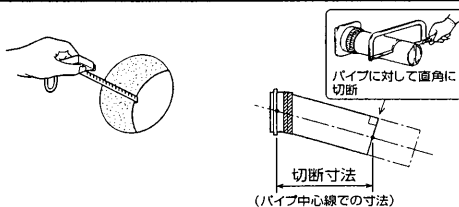
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材を付けたあと表面を平らにしてください。(コーキングが高すぎるとドレン水が排出されません。(排湿用のみ))



#### 4. 給排気パイプを切断する

- (1) 壁厚を測る。
- (2) 下表の寸法で給排気パイプを切断する。(室外フードによって切断寸法が異なります)

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm

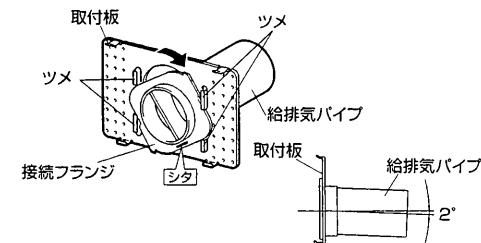


### 5. 給排気パイプを取付板に固定する

- (1) 接続フランジの「シタ」印を下側にして、給排気パイプを取付板に差し込む。
- (2) 右回りに回転させて、接続フランジをツメに引っ掛ける。
- (3) 給排気パイプが右図のように室外側に向かって下りこう配になっているか確認する。

##### お願い

- フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。
- 給排気パイプが下りこう配になっていないと、ドレン水の逆流(排湿用の場合)や雨水が浸入します。



### 6. 断熱材の切断

断熱材を壁厚寸法で切断する。

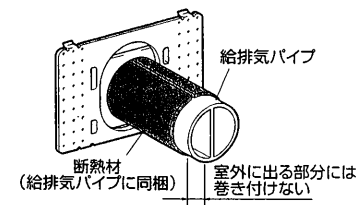
### 7. 断熱材の巻き付け

切断した断熱材を給排気パイプに巻き付ける。

##### お願い

- 断熱材は室外へ出る部分には巻き付けなくてください。フードが取付けられなくなります。

室外フード	室外へ出る部分
防火ダンパー付	10mm
防火ダンパーなし	30mm



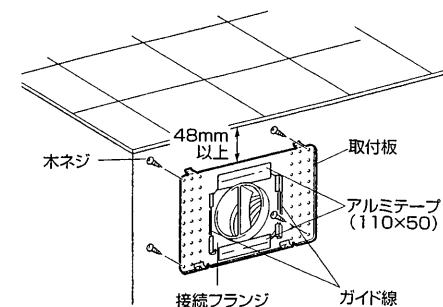
### 3. 取付板の取付け

#### 取付板を固定する

- (1) 給排気パイプを壁穴に通す。
- (2) 天井からの寸法を確保して壁内の補強材のある位置に木ネジ4本で取付板を固定する。
- (3) 接続フランジの左右を取付板のガイド線にあわせて、アルミテープ(110×50)を貼り付けて固定する。  
このときアルミテープは取付板からはみださない。

##### お願い

- 木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)



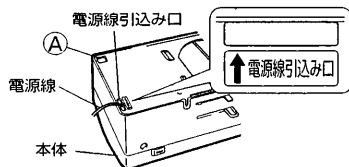
## 4. 本体の取付け

### 1. 電源線を引き込む **壁スイッチタイプ** のみ

壁から引き出した電源線を本体裏側の引込み口から本体内部に引き込む。

#### お願い

- 製品上部側の穴(右図 ①)から引き込むと、急速/ロスナイ切替操作ができなくなるおそれがあります。

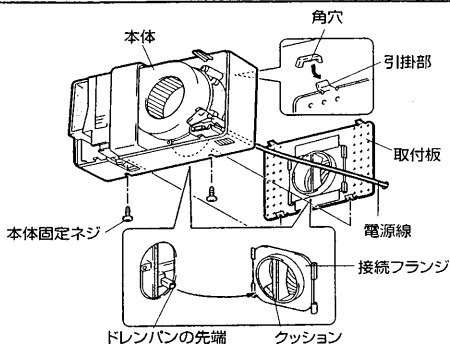


### 2. 本体の固定

- (1) 取付板に本体を引っ掛ける。  
(本体:上部角穴、取付板:上部引掛部…2か所)

#### お願い

- ドレンパンの先端を接続フランジのクッションに乗せてください。(排湿用のみ)
- (2) 本体を壁側に押しつけて、本体固定ネジ2本で固定する。



## 5. 電気工事

### 警告

- 交流100Vを使用する  
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する  
(接続に不備があると火災のおそれがあります)
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う  
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります)

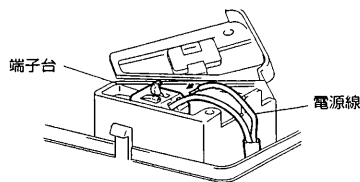
### **壁スイッチタイプ** のみ

#### 1. 結線をする

- (1) 結線図(裏面)のとおり結線をする。
- (2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。

#### 2. 端子台カバーを閉める

- (1) 端子台カバーを閉める。
- (2) 端子台カバー固定ネジで端子台カバーを固定する。



### 引きひもタイプ

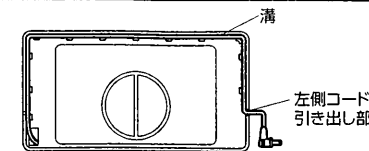
#### 1. 本体付近のコンセントに電源プラグを差し込む

#### お願い

- あまった電源コードを本体内部へ押し込まないでください。(動作不良の原因となります)

#### 2. 電源コードを左側から出す場合

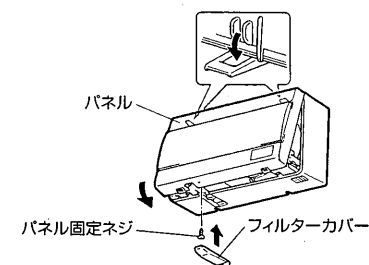
- (1) 本体を壁から一旦はずす。
- (2) 右図のように本体上部の溝に通して電源コードを左側にまわし、左側コード引き出し部から出す。
- (3) コード処理後、元通り本体を取付ける。



## 6. パネルの取付け (壁スイッチタイプのみ)

#### 1. パネルを取付ける

- (1) パネル上側を本体に引掛け、下側を押さえてはめ込む。
- (2) パネル固定ネジでパネルを固定する。
- (3) フィルターカバーを取付ける。



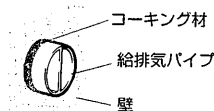
## 7. 室外側工事

#### 1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

#### お願い

- すき間をふさがないと雨水が浸入します。



#### 2. 室外フードの取付け

室外フードの取付工事説明書に従い室外フードを取付ける。

裏面の「6. 取付工事後の確認」および「7. 試運転」を行ってください

# フード先付けの場合

マンションで外装工事を先に仕上げる場合、フードを先に取付けておくことができます。以下ではマンションの取付けを想定して説明しています。

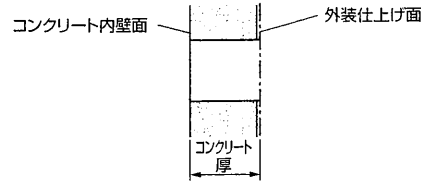
## 1. 壁穴工事

◆壁穴工事 → 裏面を見る

## 2. 取付け前の準備

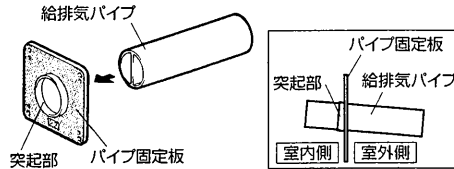
### 1. コンクリート厚を測定する

図を参照してコンクリート厚を測る。  
(コンクリート厚には外装仕上面厚を含む)



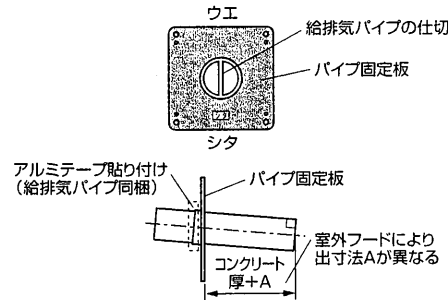
### 2. 給排気パイプの挿入

パイプ固定板に給排気パイプを挿入する。  
●パイプ固定板には方向性があります。突起部が室内側になります。



### 3. パイプ固定板の位置決めと給排気パイプの仕切の方向

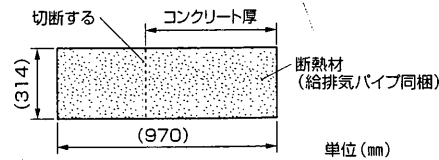
- (1)パイプ固定板の上下方向を確認し、右図のように給排気パイプの仕切の方向を決める。
- (2)コンクリート厚+給排気パイプ室外寸法Aを決め、その位置にパイプ固定板をセットする。
- (3)給排気パイプに同梱のアルミテープで、パイプ固定板と給排気パイプを固定する。



室外フード	パイプ室外出寸法A
防火ダンパー付	10mm
防火ダンパーなし	30mm

### 4. 断熱材の切断

断熱材をコンクリート厚寸法で切断する。



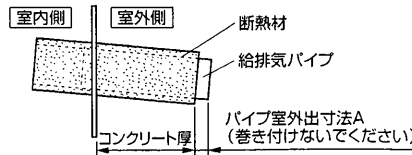
### 5. 断熱材の巻き付け

切断した断熱材を給排気パイプの室内側・室外側に巻き付ける。

●パイプ室外出寸法Aについては、上記手順3の表を参照ください。

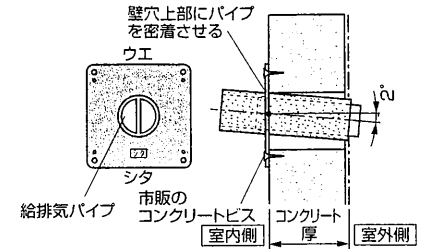
#### お願い

●断熱材はパイプ室外出寸法Aには巻き付けしないでください。フードが取付けられなくなります。



## 3. 給排気パイプの取付け

- (1)パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを壁穴に通す。
- (2)室内側の給排気パイプが壁穴の上部に密着するようにパイプ固定板を位置決めする。
- (3)コンクリートビスの固定位置(4か所)に印をする。
- (4)給排気パイプを一旦取り出す。
- (5)コンクリートビスの予備穴を開ける。
- (6)給排気パイプを挿入しパイプ固定板をネジ止める。(市販のコンクリートビス4本)



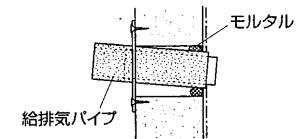
## 4. 室外側工事

### 1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間をモルタルなどでふさぐ。

#### お願い

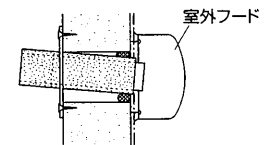
- 給排気パイプには傾斜が必要です。ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。
- すき間をふさがないと雨水が浸入します。



### 2. 室外フードの取付け

室外フードの取付工事説明書に従い室外フードを固定する。

この時点で室外側の工事は完了です



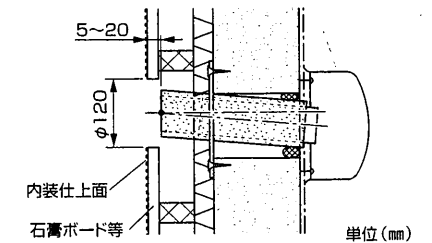
## 5. 内装工事

### 1. 給排気パイプの切断と内装仕上

- (1)内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法が5~20mm以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

#### お願い

- 内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法(5~20mm)を守ってください。
- (2)内装仕上面の給排気パイプ位置にφ120の穴を開ける。



### 2. ◆電源線を引き出す 壁スイッチタイプ のみ

裏面をご覧ください。

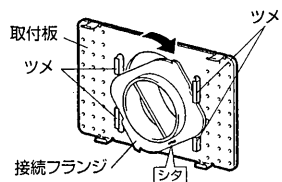
## 6. 取付板の取付け

### 1. 接続フランジの取付け

- (1) 接続フランジの「シタ」印を下側にして取付板に接続フランジを差し込む。
- (2) 右回りに回転させて、接続フランジをツメに引っ掛ける。

#### お願い

- フランジがツメに4か所ともかかっていることを確認してください。

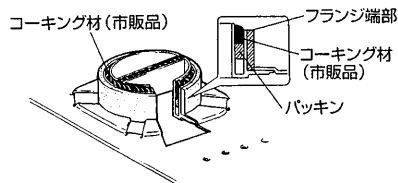


### 2. コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

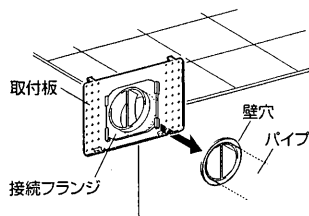
#### お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



### 3. 接続フランジと給排気パイプの接続

接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。

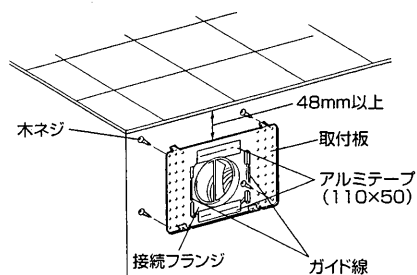


### 4. 取付板の固定

- (1) 天井からの寸法を確保して壁内の補強材のある位置に木ネジ4本で取付板を固定する。
- (2) 接続フランジの左右を取付板のガイド線にあわせて、アルミテープ(110×50)を貼り付けて固定する。このときアルミテープは取付板からはみださない。

#### お願い

- 木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)

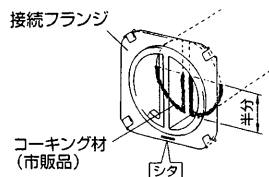


### 5. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続部の下から半分を内側からコーキングする。

#### お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。(コーキングが高すぎるとドレン水が排出されません。(排湿用のみ))



以下の工事は **フード後付けの場合** と同様に行ってください。

## 7. 本体の取付け

## 8. 電気工事

## 9. パネルの取付け (壁スイッチタイプのみ)

裏面の「6. 取付工事後の確認」および「7. 試運転」を行ってください

## 既設の換気口などを利用する場合

接続パイプ (P-30FP) の取付工事説明書に従う。